

## 取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく  
お使いください。お読みになったあとは、「保証書」とともに  
大切に保存してください。



# MODEL PM-54D

ステレオ プリメインアンプ

**marantz®**

**お買い上げいただき、  
ありがとうございます。**

ご使用前に、この説明書をよく読み、正しくお使いください。

なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などがございましたら、お早めにお買い上げ店、または、保証書封筒に記載の最寄りの日本マランツ(株)各営業所、出張所にお問い合わせください。

## **1** ご使用前に

### ■次のような場所には置かないように……

モデル PM-54D を永くご愛用いただくために、次のような場所には置かないでください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体が近い場所。
- 風通しが悪く、湿気やホコリの多い場所。
- 振動や傾斜のある不安定な場所。
- アルコール類やスプレー式の殺虫剤など、引火性の物に近い場所。
- 窓ぎわで、雨などのかかるおそれのある場所。

### ■ご使用いただく電源電圧・周波数は

- 電源電圧は、交流 100V をご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz 地域または 60Hz 地域でも使用できます。

### ■電源コードの取扱いはていねいに

- 電源コードはかならずプラグを持って抜いてください。コードを強くひっぱったり、折り曲げたりしますとコードがいたみ、感電や火災の原因になります。
- 長時間ご使用にならないときは、かならずプラグを抜く習慣をつけましょう。
- 濡れた手で触れないでください。

### ■セット内部の修理は

- 専門知識を持った技術者以外の方は、セット内部の修理を行わないようにしてください。

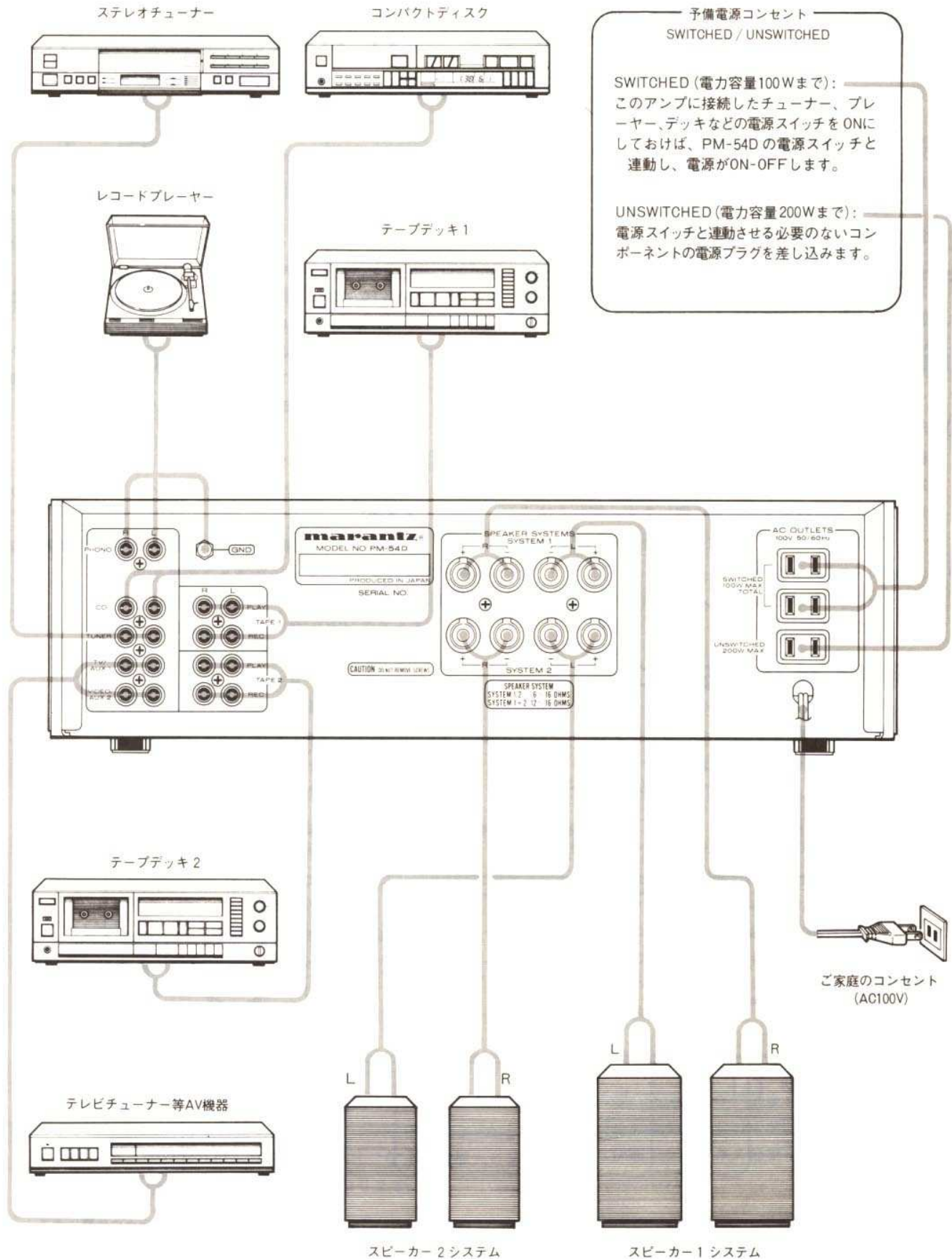
### ■異物が入った場合は

- 通風孔などからセット内部にヘアピンなどの異物が入りますと、感電や故障の原因になります。
- もし異物がセット内部に入った場合は、ただちに電源コードをはずし、お近くの日本マランツ(株)営業所、またはサービスセンターにご連絡ください。

### ■水が入ったときは

- セット内部に水が入りますと感電や故障の原因になりますので、水の入った容器などはセットの上に置かないでください。
- もし水がセット内部に入った場合は、ただちに電源コードをはずし、お近くの日本マランツ(株)営業所、またはサービスセンターにご連絡ください。

## 2 接続図



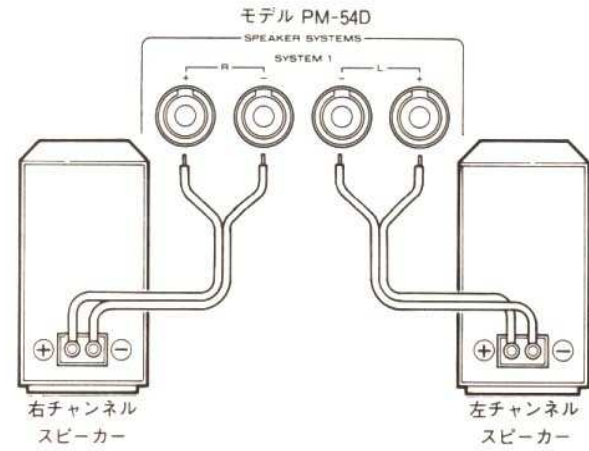
### 3 接続方法

#### ★スピーカーシステム(SPEAKER SYSTEMS)

モデル PM-54D には、SYSTEM 1 と SYSTEM 2 のスピーカー出力端子があります。通常は、SYSTEM 1 端子にスピーカーシステムを接続してください。

●下図のように、出力端子の R に右チャンネルのスピーカーシステムを、L に左チャンネルのスピーカーシステムをそれぞれ接続します。

●出力端子には、プラス(⊕：赤色)とマイナス(⊖：黒色)の極性があり、またスピーカーシステムにも極性(⊕と⊖)があります。接続する場合は、必ず同じ極性(⊕と⊕、⊖と⊖)に接続してください。

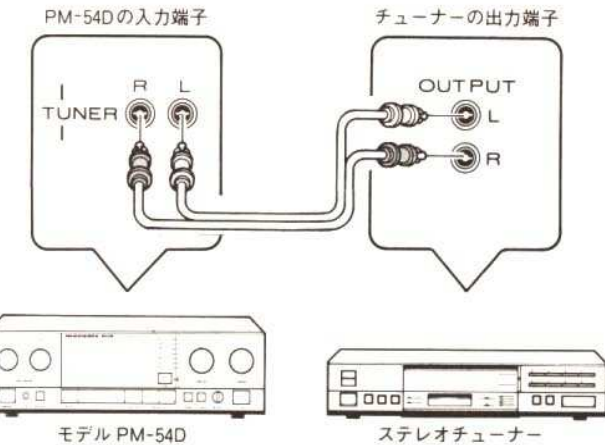


#### ご注意：

2組のスピーカーシステムを同時にお使いになる場合は、各スピーカーシステムのインピーダンスが12Ω以上のものをお使いください。12Ωより低いインピーダンスのものを接続しますと、保護回路が働き、正常なステレオ演奏ができなくなることがあります。

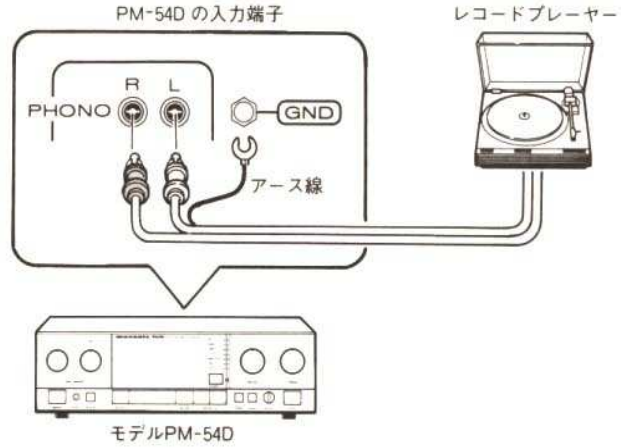
#### ★チューナー(TUNER)

TUNER 端子と、ステレオ FM/AM チューナーの出力端子を接続します。



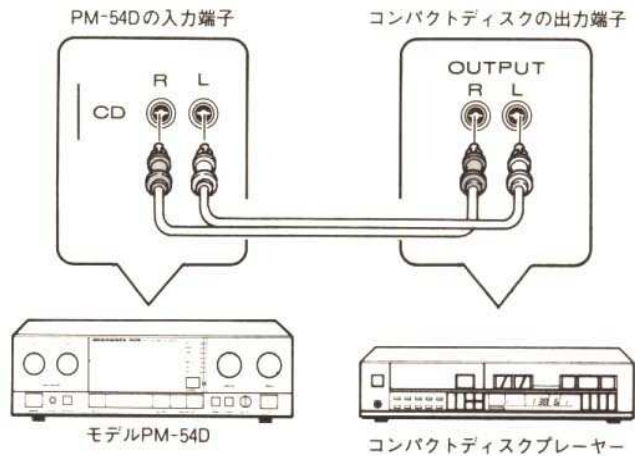
#### ★レコードプレーヤー(PHONO)

レコードプレーヤーの出力コード L を PHONO の L 端子に、R を R 端子に接続します。アース線は必ず GND 端子に確実に接続してください。



#### ★コンパクトディスク(CD)

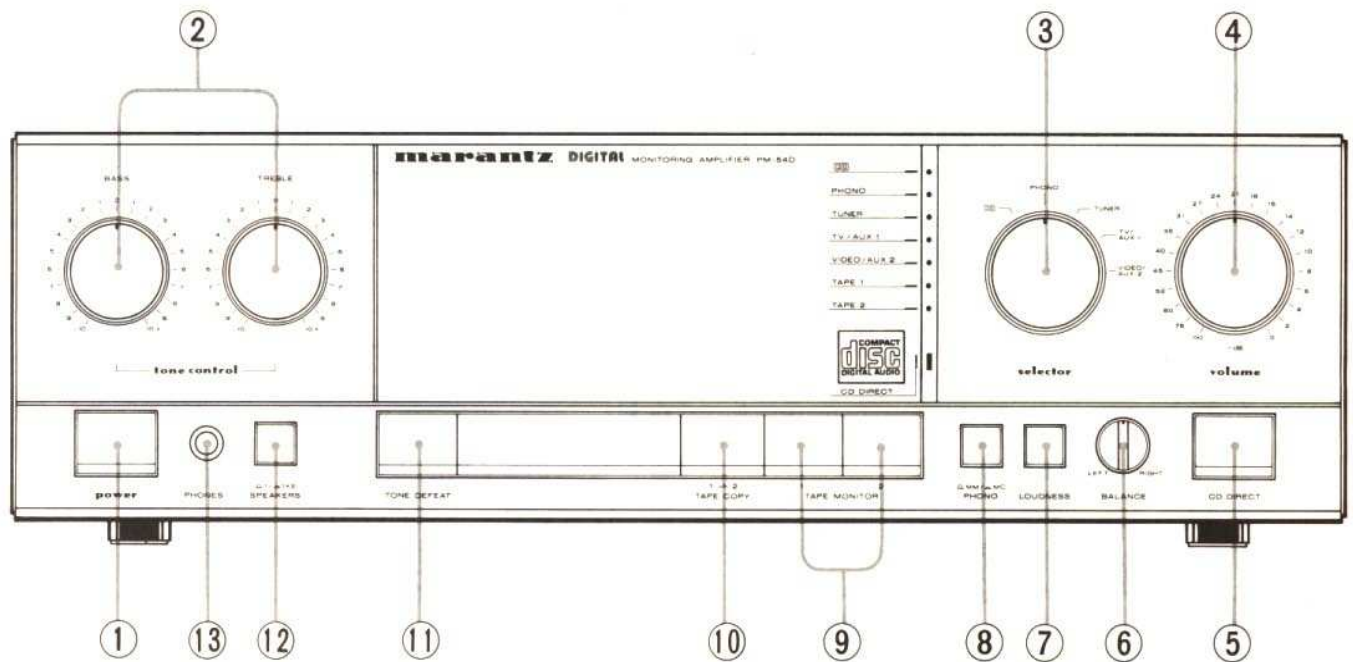
CD 端子と、コンパクトディスクプレーヤーの出力端子を接続します。



#### ★TV/AUX 1、VIDEO/AUX 2端子

この端子は予備入力用で、テレビの音声多重受信用チューナー、VCR (ビデオカセットレコーダー)、レーザーディスクなどAV機器の音声出力を接続します。

## 4 各部の名称と使い方



### ① 電源スイッチ(POWER)

スイッチを押すと電源が入り、もう一度押すと電源は切れます。また、このスイッチで後面にある AC OUTLETS (SWITCHED) の電源を ON/OFF できます。

### ② トーンコントロールつまみ

[TONE CONTROL (TREBLE、BASS)]

音質を調整するつまみで、各音域の強弱はそれぞれのつまみをまわすことによってコントロールされます。各音域とも⊕で強調され、⊖で弱められます。

**TREBLE**：高音域の音質を調整します。

**BASS**：低音域の音質を調整します。

### ③ セレクタースイッチ(SELECTOR)

録音や再生をするために、CD、PHONO、TUNER、TV/AUX 1、VIDEO/AUX 2 それぞれのプログラムソースを選択するスイッチです。

選択されたプログラムソースの LED が点灯表示します。

### ④ ボリュームコントロールつまみ(VOLUME)

左右両チャンネルの出力レベルを同時に調整します。つまみを右(↗)にまわすと出力レベルが大きくなります。パネルの目盛りは減衰量を表示し、“0” dB で最大音量に、また“∞” dB で最小音量になります。

### ⑤ CDダイレクトスイッチ(CD DIRECT)

このスイッチを押すと入力セレクターに関係なく CD 入力を選択され、CD 入力信号は直接 VOLUME から FLAT AMP を通り、パワーアンプ部に導れます。

このように高品位なコンパクトディスクをより良く再生するために、信号ラインをシンプル化し、信号が通過しなければならない最低限の回路のみ通るようになるためのスイッチです。CD ダイレクトポジションでは LED が点灯します。なお、CD ダイレクトスイッチを押すと、CD からの録音はできません。

### ⑥ バランスコントロールつまみ(BALANCE)

古いステレオ録音、ステレオ放送でおこるアンバランスなプログラムを修正する場合や、どちらか一方のチャンネルの出力レベルを変える場合に使います。なお、バランスのつまみがどちらか片方いっぱいしまわしきられていますと、反対側のスピーカーからは音がでませんのでご注意ください。

### ⑦ ラウドネススイッチ(LLOUDNESS)

小さい音量のとき、低音を強くすることにより、音質のバランスを良くし、人間の耳の特性を補正します。押し込んだ状態でラウドネス効果を発揮します。

## ⑧ MM/MC セレクタースイッチ

セレクタースイッチ③を **PHONO** の位置にした場合、**MM**(ムービングマグネット)型、または**MC**(ムービングコイル)型を選択することができます。

使用するレコードプレーヤーのカートリッジに合わせて切換えてください。

スイッチを押して**MC**型となります。

## ⑨ テープモニタースイッチ (TAPE MONITOR 1,2)

1: **TAPE 1** 端子に接続したテープデッキで再生またはモニターするとき。

2: **TAPE 2** 端子に接続したテープデッキで再生またはモニターするとき。

スイッチを押した時点でそれぞれのLEDが点灯します。但し、**TAPE MONITOR 1,2** 両方を押したときは、**TAPE MONITOR 1** が優先されLEDも、**TAPE MONITOR 1** のみ点灯します。

## ⑩ テープコピースイッチ (TAPE COPY 1→2)

本機 **PM-54D** の後面パネルの **TAPE 1** 端子に接続したテープデッキの再生出力信号を **TAPE 2** 端子に接続したテープデッキに録音するときを押します。詳しくは“テープデッキの使い方”7頁をご参照ください。

## ⑪ トーンディフェイトスイッチ (TONE DEFEAT)

●スイッチを押さないときは、オーディオ信号はトーンコントロール回路を通り、トーンコントロールつまみにより音質調整ができます。

●スイッチを押した場合は、オーディオ信号はトーンコントロール回路を完全にバイパスするため、トーンコントロールは操作できません。

## ⑫ スピーカースイッチ

信号ラインをよりシンプルにするためにパワーアンプの出力はダイレクトに **SYSTEM 1** のスピーカー端子に接続されます。従って **SYSTEM 1** に接続されたスピーカーシステムはパワーアンプに直結されています。

**SYSTEM 2** に接続されたスピーカーシステムは、このスイッチで **ON**、**OFF** することができます。

**SYSTEM 1/2** の両方に接続されたシステムは、このスイッチ **ON** で両方のシステムを動作させることができます。**OFF** では **SYSTEM 1** のみの動作となります。

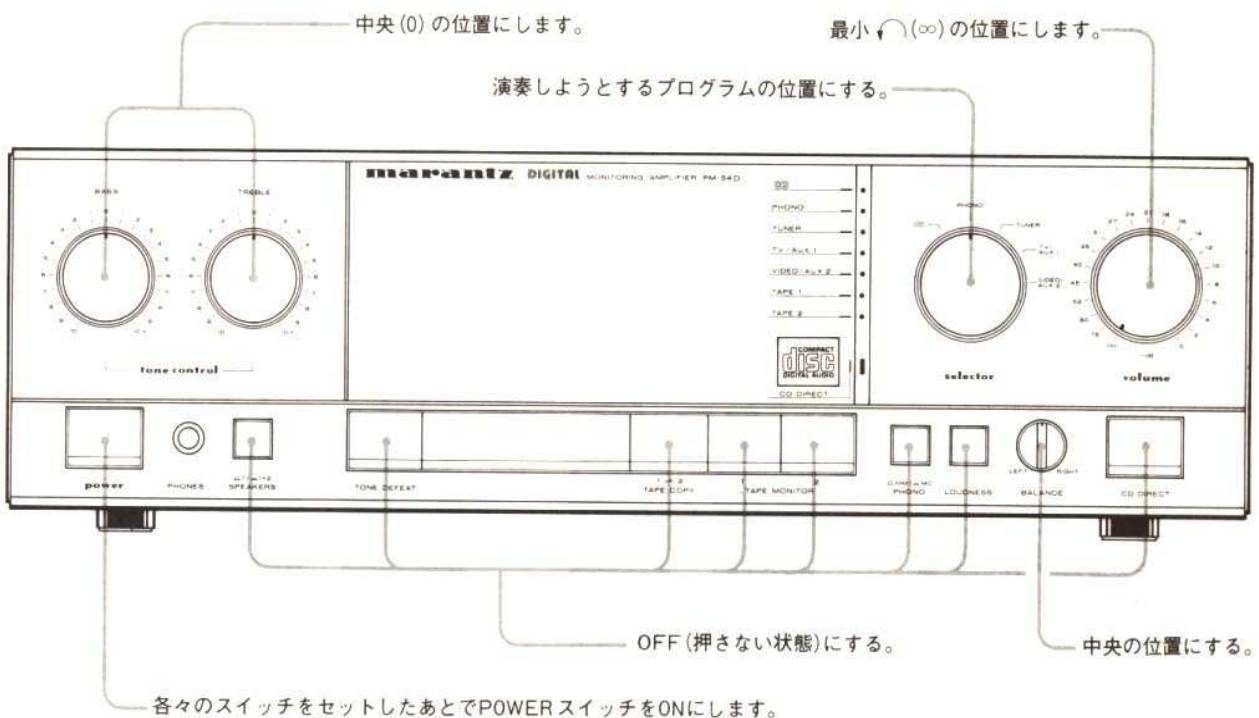
## ⑬ ヘッドホンジャック (PHONES)

このジャックには標準のステレオヘッドホンプラグが使えます。

なお、プラグを挿入すると、スピーカーの音は聞えなくなります。

# 5 演奏をはじめる前に

## ★各スイッチの位置



## 6 演奏のしかた

### ★レコードの演奏

- ①SELECTORスイッチをPHONOの位置にします。  
(LEDが点灯表示します。)
- ②MM/MCセレクタースイッチで、使用するカートリッジの種類(MM/MC)を選択します。
- ③レコードプレーヤーを操作して、レコードを演奏します。
- ④VOLUMEコントロールつまみで音量を、TREBLEおよびBASSコントロールつまみで音質を調整します。

#### (演奏上のご注意)

- ★レコードプレーヤーのカートリッジを交換するときや、レコード盤に針をのせるときは、ボリュームをしぼった状態で行なってください。
- ★レコード演奏中は、レコードプレーヤーに振動をあたえないでください。振動で針先がとび、「音とび」やレコード盤にキズをつける原因となります。
- ★レコードプレーヤーをスピーカーシステムの近くに設置しますとハウリングを起こし、音量を大きくできない場合があります。
- ★レコード盤に針先をのせたまま電源を切らないでください。

### ★FM/AM放送の聞きかた

- ①SELECTORスイッチをTUNERの位置にします。  
(LEDが点灯表示します。)
- ②チューナーで放送局を選局します。
- ③VOLUMEコントロールつまみで音量を、TREBLEおよびBASSコントロールつまみで音質を調整します。

### ★コンパクトディスク(CD)プレーヤーの演奏

- ①SELECTORスイッチをCDの位置にします。  
(LEDが点灯表示します。)
- ②コンパクトディスクプレーヤーを操作し、演奏します。
- ③VOLUMEコントロールつまみで音量を、TREBLEおよびBASSコントロールつまみで音質を調整します。
- ④CD DIRECTスイッチを押したときは、コンパクトディスク再生の終了後、もう一度スイッチを押してLEDが消える状態にしてください。  
CD DIRECTのLEDが点灯していると、他のプログラムソースの再生およびCDの録音はできません。

### ★TV/AUX 1、VIDEO/AUX 2 端子での演奏

後面パネルのTV/AUX1端子、またはVIDEO/AUX2端子に接続したコンポーネントを演奏します。  
(LEDが点灯表示します。)

- ①SELECTORスイッチをTV/AUX 1、またはVIDEO/AUX 2の位置にします。
- ②接続したコンポーネントを操作し、演奏します。
- ③VOLUMEコントロールつまみで音量を、TREBLEおよびBASSコントロールつまみで音質を調整します。

## 7 テープデッキの接続

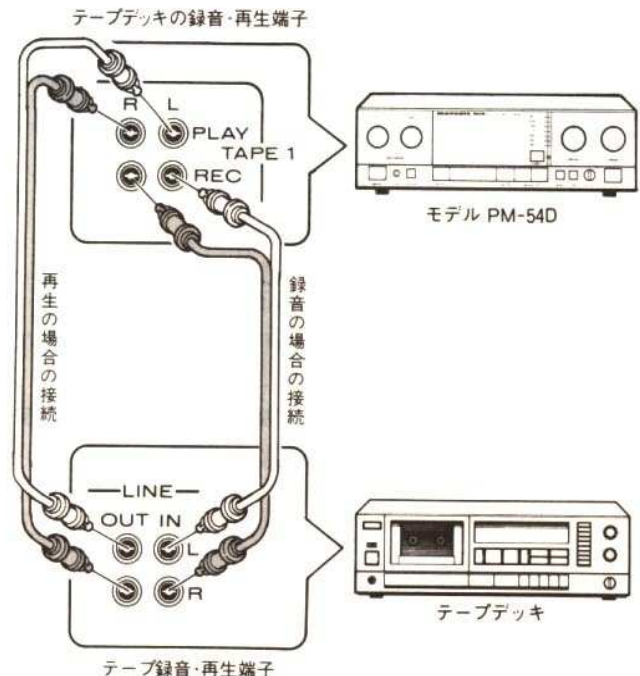
モデル PM-54D は、2組の録音端子(TAPE 1、2 REC)と、2組の再生端子(TAPE 1、2 PLAY)を備えています。  
接続のしかたは次のとおりです。

### ★テープ録音の場合

TAPE 1 REC 端子とテープデッキの録音入力端子(LINE INPUT)を接続します。

### ★テープ再生の場合

TAPE 1 PLAY 端子とテープデッキの再生出力端子(LINE OUTPUT)を接続します。



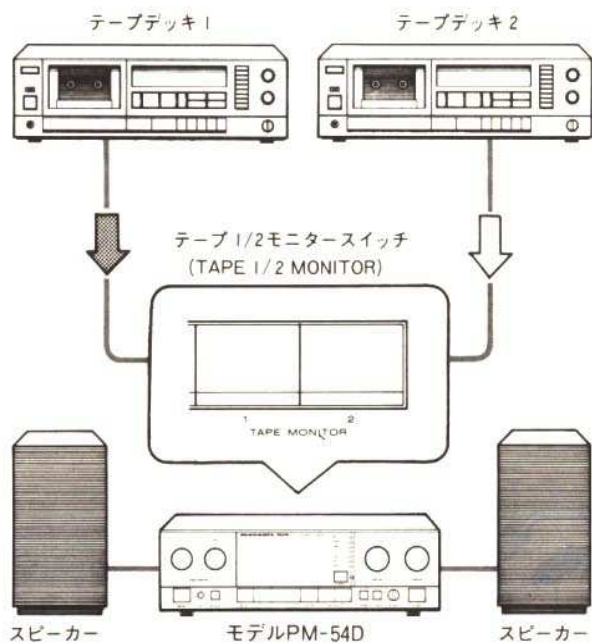
#### (ご注意)

- 2台目のテープデッキは、TAPE 2(REC、PLAY)端子に接続します。
- 接続コードはテープデッキの付属コードをご使用ください。

## 8 テープデッキの使い方

### ★テープ再生

- ① テープデッキを本機 (PM-54D) の後面パネルの TAPE 1 端子に接続した場合は、TAPE 1 MONITOR スイッチを押します。また、TAPE 2 端子に接続した場合は、TAPE 2 MONITOR スイッチを押します。  
(いずれも押されたスイッチのLEDが点灯表示します。)
- ② テープデッキで録音済みテープを再生します。
- ③ VOLUME コントロールつまみで音量を、TREBLE および BASS コントロールつまみで音質を調整します。



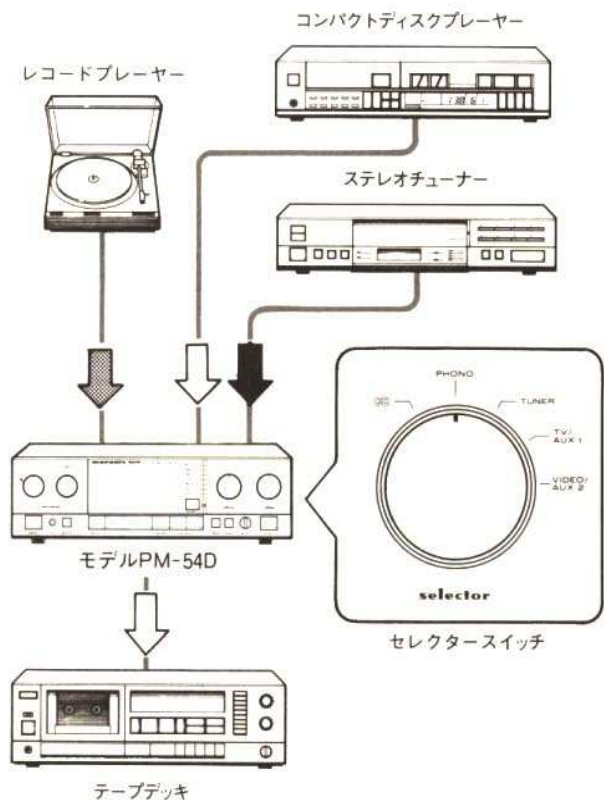
#### (ご注意)

- テープ再生をしないときは、TAPE MONITOR スイッチを必ずOFF (LEDが消えている状態) にしておいてください。
- テープ再生の場合は、SELECTOR スイッチがどの位置にあっても、テープ再生が優先します。

### ★テープ録音

レコードプレーヤーやチューナー、およびコンパクトディスクプレーヤーなどのプログラムソースをテープに録音するには、次のように行ってください。

- ① SELECTOR スイッチで CD、PHONO、TUNER など録音するプログラムソースを選びます。  
(いずれも選ばれたプログラムソースのLEDが点灯します。)
- ② 選ばれたプログラムソースの機器を操作し、演奏します。
- ③ テープデッキを操作してテープに録音します。
- ④ CD録音は、SELECTOR スイッチをCDポジションにし、CD DIRECT スイッチをOFF (CD DIRECT のLEDが消えている状態) にすると可能になります。



### ★テープモニター

モニター機構付 (3ヘッド式) のテープデッキでテープ録音する場合は、TAPE MONITOR スイッチの TAPE 1 (または TAPE 2) を押すことによって、録音状態をスピーカーでモニターすることができます。この場合は、必ず録音用と再生用の接続をしておいてください。

#### (ご注意)

2ヘッド式のテープデッキの場合は、TAPE MONITOR スイッチを操作しても録音のモニターはできません。しかし、プログラムソースの音は聞くことができます。



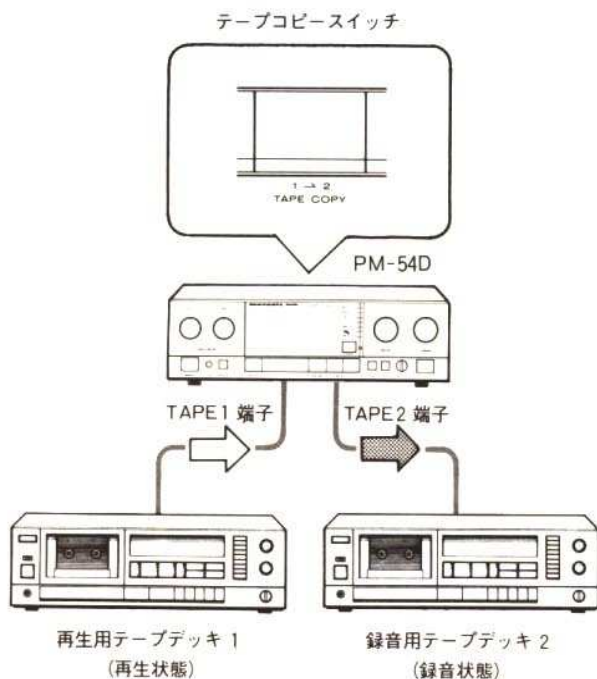
## ★ 録音ずみのテープをダビングするには

テープデッキを2台お持ちの場合、例えばあらかじめFM放送の音楽などを録音したテープの中から、お好みの音楽だけを別のテープに録音することができます。また、オープンリールテープからカセットテープにダビングすることもできます。

1. 下図のように2台のテープデッキを接続します。
2. テープデッキ1からテープデッキ2へダビングする場合は、テープコピースイッチ(TAPE COPY 1→2)を押します。

### (ご注意)

- 録音している内容を確認する場合は、再生側に相当するテープモニタースイッチ(TAPE MONITOR 1、2)の1を押します。
- ダビングを行なっている間、SELECTORスイッチで選んだ他のプログラムソースを聞くことができます。この場合、TAPE MONITORスイッチは必ずOFF(LEDが消えている状態)にします。



## 9 故障とお考えになる前に

故障かな?と思われましたらちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障と思われることがあります。下記の項目をチェックしてなおらない場合は、お買い上げになった販売店、お近くの日本マランツ(株)各営業所、または当社サービスセンターにご相談ください。

### アンプが動作せず、LEDインジケーターが点灯しない

1. 電源コードが正しくACコンセントに差し込まれていますか?

### LEDインジケーターは点灯するが、アンプが動作しない

1. セレクタースイッチ(SELECTOR)、ボリュームコントロールつまみ(VOLUME)などの位置をチェックしてください。

### 一方のスピーカーからしか音が聞こえない

1. バランスコントロールつまみ(BALANCE)の位置をチェックしてください。
2. セットの電源を切り、左右チャンネルのスピーカーコードを入れ換えてみてください。それでも同じスピーカーから音がでないときは、接続コード、あるいはスピーカーの不良です。

### プレーヤーのハムがひどい

1. フォノプラグと端子が正しく接続されているかチェックしてください。
2. プレーヤーのアース線をセット後面にあるGND端子に接続してみてください。すでに接続されている場合は、はずしてみてください。
3. フォノカートリッジがトーンアームにしっかり接続されているかチェックしてください。
4. 電源コードプラグを逆にして、ACコンセントに差し込んでみてください。

## 10 お手入れ

### ★セットのお手入れ

セットが汚れたときは、やわらかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5～6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

## 11 保証・アフターサービスについて

- この商品には保証書を別途添付してあります。  
保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
- 保証期間はご購入日より1年間です。  
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障の節は、ご購入後販売店または弊社営業所で保証書記載事項に基づき「無償修理」いたします。
- 保証期間経過後の修理  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は8年です。
- 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、ご購入後販売店または別紙の弊社営業所に遠慮なくご相談ください。

## 12 規 格

定格出力(20Hz～20kHz 両ch同時駆動)	80W×2(8Ω負荷)
定格出力(1kHz 両ch同時駆動)	89W×2(8Ω負荷)
出力帯域幅(8Ω負荷、THD 0.03%)	5Hz～50kHz
全高調波歪率(20Hz～20kHz、8Ω負荷)	0.015%
混変調歪率	0.015%
周波数特性(20Hz～20kHz)	+0、-0.3dB
ダンピングファクター(8Ω負荷)	90
入力感度/入力インピーダンス	
フォノ(MM)	2.5mV/47kΩ
フォノ(MC)	250μV/100Ω
テープ・チューナー・CD	
TV/AUX・VIDEO/AUX	150mV/20kΩ
RIAA偏差(20Hz～20kHz)	±0.2dB
S/N比(IHF-Aネットワーク)	
フォノ(MM)	85dB
フォノ(MC)	75dB
テープ・チューナー・CD	
TV/AUX・VIDEO/AUX	96dB
フォノ最大許容入力・フォノ(MM)	140mV
(1kHz)	フォノ(MC) 14mV
トーンコントロール特性(低域100Hz)	±10dB
(高域10kHz)	±10dB
その他	
電 源	100V 50/60Hz
消費電力(電気用品取締法)	120W
本体外形寸法(幅×高さ×奥行き)	416×118×334mm
最大外形寸法(幅×高さ×奥行き)	416×136×376mm
重 量(セット単体)	9.5kg

本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 日本マランツ株式会社

本 社 〒228 神奈川県相模原市相模大野7丁目35番1号  
営業本部 〒150 東京都渋谷区恵比寿南1丁目11番9号

ご注意：お問合せは日本マランツ(株)各営業所で承っておりますので保証書封筒の記載の全国営業所一覧をご覧ください。